

地域・職域で進めるアルコール対策の 取組と活動実態調査 — 第1報 —

○永山紀子^{*1} 比江嶋瑞穂^{*2} 宮里瞳^{*3}
 蛭原夕起子^{*4} 杉尾重子^{*3} 上原千枝^{*1}
 戸高由佳里^{*1} 藤崎淳一郎^{*1}

(^{*1}中央保健所 ^{*2}県立宮崎病院
 ^{*3}高鍋保健所 ^{*4}障がい福祉課)

はじめに

宮崎東諸県地域・職域連携推進協議会

目的

地域と職域の連携



保健事業の共同実施連携体制の構築



保健サービス提供体制の整備

アルコール健康
障害対策推進
基本計画

アルコール対策に
取り組む二次医療圏
は多くはない

平成28年 厚生労働省



アルコール対策への取組を開始

対象と方法

対象と方法①

●各種調査

- 成人の飲酒行動に関する全国調査
- 産業保健調査研究



状況把握と課題分析

対象と方法②

- 対象：宮崎東諸県地域・職域連携推進協議会部会員
- 形態：グループディスカッション
- テーマ：アルコール対策の現状を知る



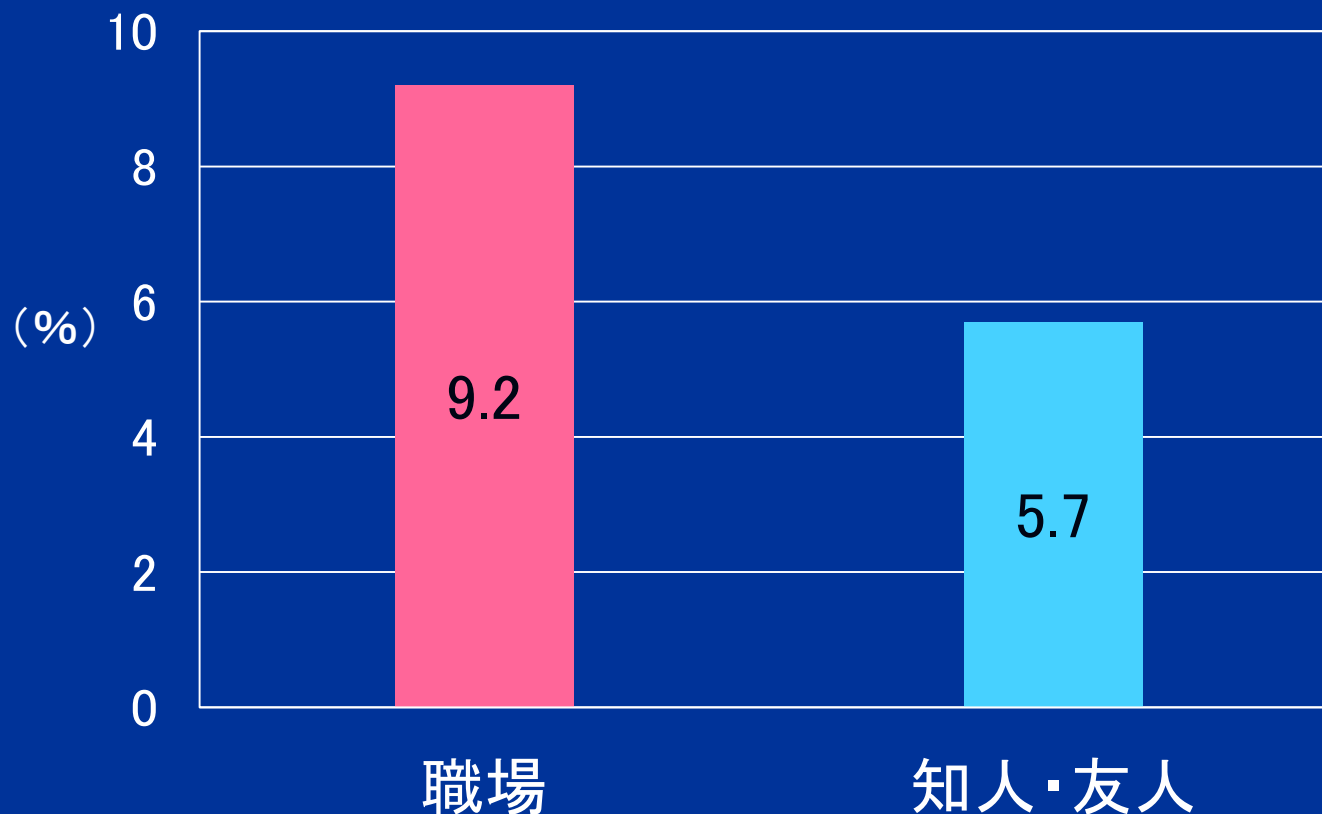
取組状況の把握

結 果

①各種調査による 状況把握

アルコールによる間接被害の実態

家族以外からの飲酒が原因で困った経験の割合



職場における飲酒問題の事例化

- 長期欠勤
- 不定期の欠勤、早退
- 業務効率の低下
- 事故
- 仕事上のトラブル
- 仕事外のトラブルによる職場関係者への迷惑 他

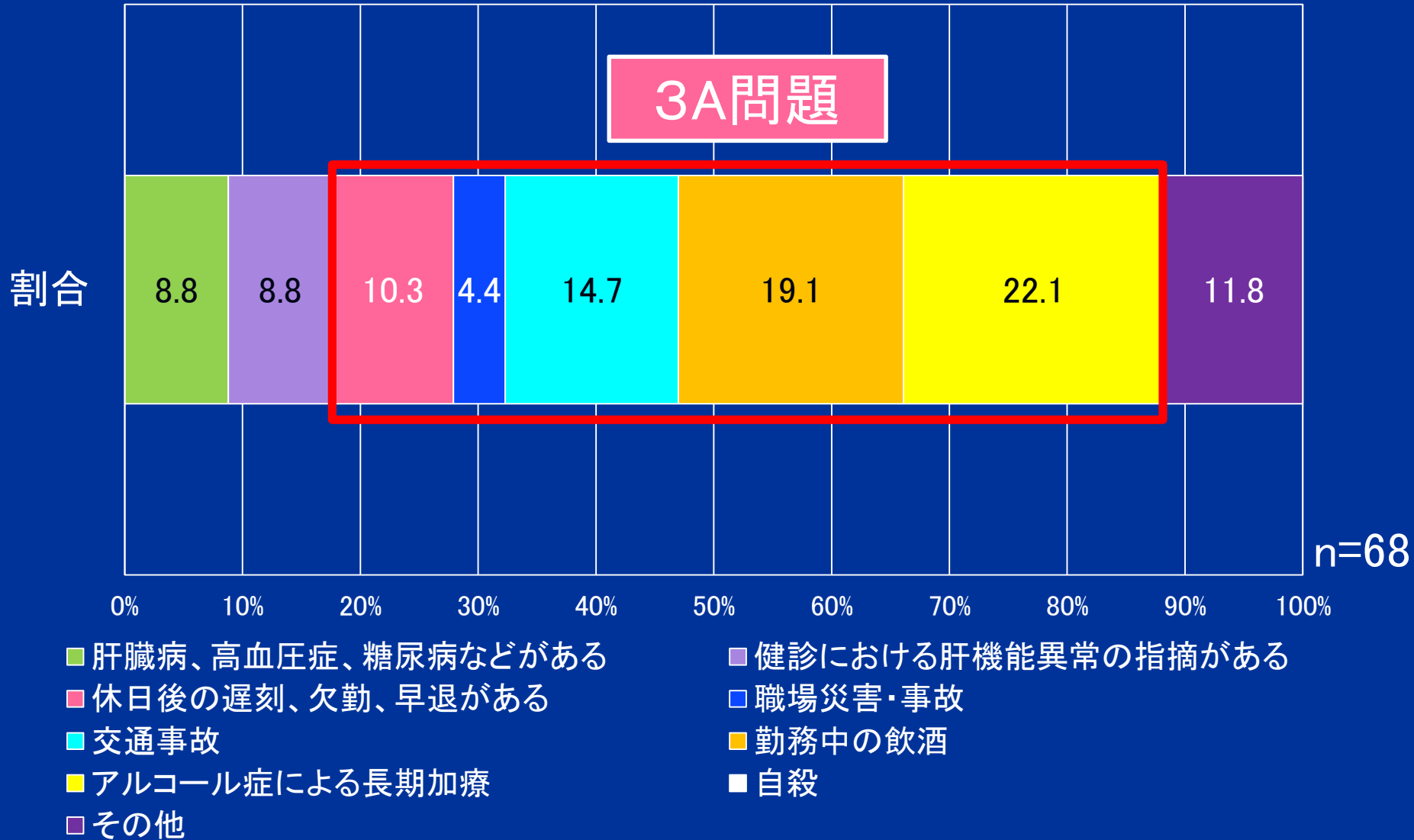
産業衛生分野におけるアルコールに 関連した問題

■ **A**ccident (事故)

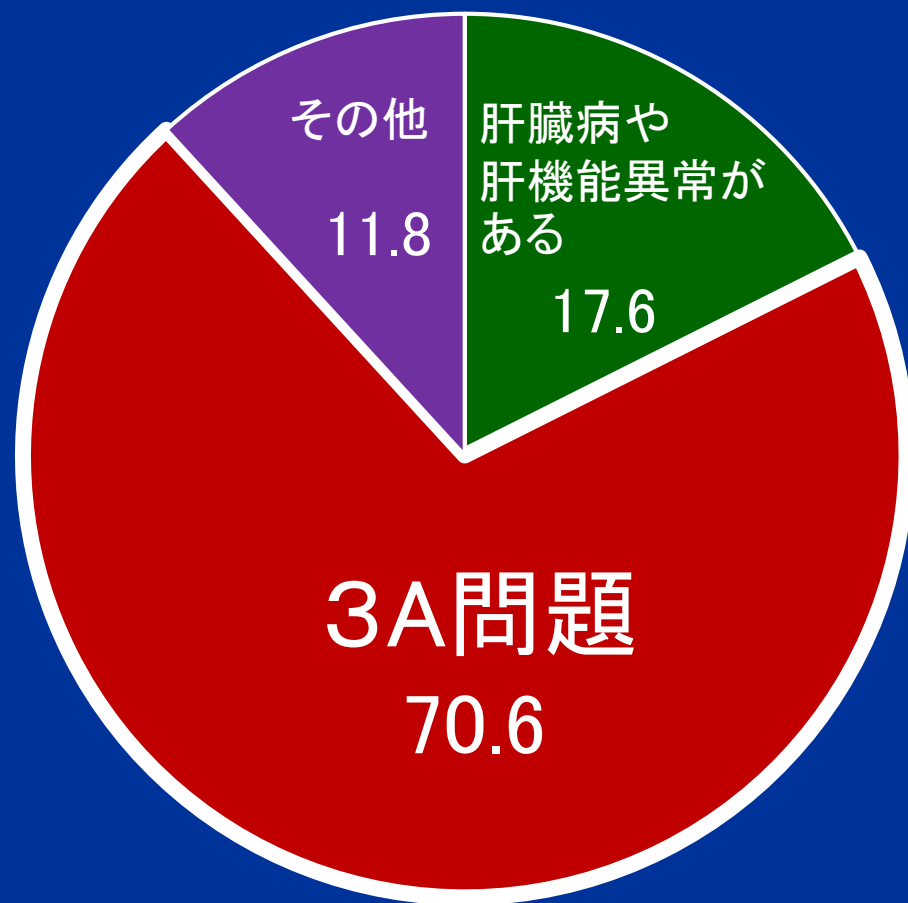
■ **A**bsenteeism (無断欠勤)

■ **A**lcoholism (アルコール依存症)

アルコール飲用に関連した職場問題



アルコール飲用に関連した職場問題



②部会活動

第1回部会

目的

- アルコール対策に対する認識の共有
- 調査の方向性を見いだす

【職場問題の有無】

- 小規模事業所では、
パワーハラスメントのような風潮が
残っていることがある
- 問題があることが表出されない

【対策に取り組む上での課題】

- 個人だけの問題でなく、会社や家庭全体で取り組む必要がある
- 対策は、職場の規模によって異なる

第2回部会

目的

アルコール対策状況調査についての検討

- アンケート様式
- 配布

様式

- A4用紙1枚
- 6項目を選択
 - ・事業所の業種
 - ・従業員数
 - ・アルコール飲用に関連した問題の有無
 - ・取組状況
 - ・対策を進める上で困難な理由
 - ・対策について望むこと

配布

病院・診療所

市郡医師会

歯科診療所

市郡歯科医師会

案内物に同封

福祉施設等

市町行政

保育所等

事業所

労働基準監督署
健康保険協会

郵送

大学・金融機関等

事務局

飲食店

講習会で配布

考 察

各種調査において…

全国の現状・取組状況を把握

部会員より…

アルコール問題があることが表出
されず**明るみ**になっていないことが
問題

先行研究において・・・

* 労働人口のアルコール問題の抑止は
様々な面で極めて重要

労働力の確保、労災事故の抑止、企業の社会的責任

* 健康保持増進活動について**一定の実績
がある**

* **モデル事業が行いやすい**



対応が望まれる

課題への検討

宮崎東諸県地域の
状況把握

職場の規模、
環境に応じた対策



当地域内の職域で実施している
アルコール対策体制は十分か



平成30年度に活動実態調査を実施

今後の取組

3カ年計画表

	H29年度 (1年目)	H30年度 (2年目)	H31年度 (3年目)
取組	アルコールに係る 調査内容検討	調査実施・集計	調査結果報告 媒体作成・配布
協議会	2回(8/3月)	2回(7/3月)	2回(7/3月)
部会	2回(9/12月) 調査内容検討	2回(9/12月) 調査集計	2回(9/12月) 媒体内容検討

現在の活動実態を調査



地域と職域が一体となって
取り組める体制を整備していきたい